

2022年6月1日

健康食品業界団体／報道関係者各位

一般社団法人日本栄養評議会
安全と機能検討委員会

一般社団法人日本栄養評議会（CRN JAPAN）第104回勉強会

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当会の活動につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

早速ですが、Zoomを利用したウェビナーにて【（一社）日本栄養評議会第104回勉強会】の開催につきまして、下記の通りご案内申し上げます。ご案内が遅れましたこと申し訳ございません。

多忙の折、誠に恐縮とは存じますが、業界関係者皆様のお役に立つ情報をお届けできるよう邁進して参りますので、業界関係者様へのご案内にご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

【開催概要】

主催：一般社団法人日本栄養評議会（CRNJAPAN）

日時：2022年6月16日（木）14時00分～16時10分

講演内容：開催挨拶 理事長 石原健夫

■第一講演 14時10分～15時00分

演題：無重力や寝たきりによる筋萎縮に有効な機能性宇宙食の開発

講師：徳島大学大学院医歯薬学研究部生体栄養学分野 教授

徳島大学宇宙栄養研究センター センター長（兼） 二川 健 先生

・休憩（10分）

■第二講演 15時10分～16時10分

演題：「製品仕様書（旧 製品標準書）」のご紹介・ご説明

講師：安全と機能検討委員会 製品標準書チーム

※第二講演の詳細につきましては、別紙をご確認ください。

実施形態：ZoomウェビナーによるWebセミナー

参加費：**無料**

参加対象：本勉強会は、（一社）日本栄養評議会 会員・非会員問わず皆様にご参加可能です。

※受託製造会社及び販売者の間で取り交わす製品仕様書系の作成および確認に携わる方は、是非とも積極的にご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

申込み方法：下記URL／QRコードより必要事項をご記入ください。

<https://forms.gle/dUmRgE2rB11VR1Fi6>

申込期限：2022年6月13日（月）迄にご参加申込みを行ってください。

※お申込み後、視聴方法のご案内及び視聴URLをお送りいたします。（6月14日（火）配信予定）

※ご参加頂いた皆様には、セミナー終了後にアンケートへのご協力をお願いさせていただきます。

【お問合せ】一般社団法人日本栄養評議会 事務局 事務局長 陣野文彦

〒104-0032東京都中央区八丁堀2-2-11 アヴィニティー銀座東403

TEL：03-3523-0575／FAX：03-3523-0576／Mail：office@crnjapan.org

【別紙】

一般社団法人日本栄養評議会第104回勉強会

第二講演 演題：製品仕様書（旧 製品標準書）」のご紹介・ご説明

受託製造会社と販売者との間では製品の規格や仕様等を定めた製品標準書（製品規格書、製品仕様書 etc.色々な名称で呼ばれております）が取り交わされていますが、各社各様な書式があり、また記載の項目も様々であることから、書式・様式及び盛込む項目等について健康食品業界内にて統一した書式の作成と利用の推進を希望する声が多く挙がっており、当該書式を運用する企業にて構成されている当会にて、「安全と機能検討委員会 製品標準書チーム」を設置し、汎用的に運用可能な書式の検討を行って参りました。

また、検討した書式内容につきまして公益財団法人日本健康・栄養食品協会にご意見をお伺いした際に、旧名称である「製品標準書」という名称は、平成17年通知、GMPの省令等でも使用されており、健康食品GMPの中で既に使用しているとのこと指摘を頂きました。そこで、運用事業者に誤解が生じないように、また運用事業者が所属する団体等の違いもあることから、この度、新たに「製品仕様書」との名称に変更いたしました。（今回の講演にてご説明させて頂く「製品仕様書」は、GMPで求められる「製品標準書」とは異なりますので、予めご留意ください。）

健康食品の品質・安全性確保には、製品の製造所における品質管理が重要でありますので、本「製品仕様書」は、受託製造会社と販売者との間で取り交わす際の製品の品質確保に必要な項目を中心に、製品の多様性を考慮して取りまとめた書式となっております。

この程作成いたしました製品仕様書の書式項目を広く認識していただき関係各社にて取り入れていただくことで業界全体の底上げに、しいては健康食品全体の品質がより向上することを期待しております。本書式にご興味頂ける方、また受託製造会社及び販売者の間で取り交わす製品仕様書系の作成および確認に携わる方は、是非とも積極的にご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本栄養評議会(CRN JAPAN)
安全と機能検討委員会 製品標準書チーム